

## 平成31年度 年間授業計画

## 1 学年・科目・単位数

第1学年 情報技術基礎 3単位

## 2 担当教員

## 3 教科・科目のねらい

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報および情報手段を活用する能力と態度を育てる。

## 4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	○データの表現 ○論理回路の基礎  (15～16時間)	○2, 10, 16進数 ○2進数の加減乗除 ○基本論理回路 ○基本論理の応用	○基本的な数値や文字の表し方 および論理回路の理解 ○日常的な学習習慣の育成
	○プログラム言語 ○プログラムの作り方 ○簡単なプログラム ○四則演算 ○文字データの取扱い ○データの読み込み (19～20時間)	○問題の分析・検討 ○流れ図の作成 ○プログラムの作成	○プログラムの概念を理解し、 自作のプログラムの作成 ○日常的な学習習慣の育成
2	○処理装置 ○周辺装置 ○コンピュータ制御の概要 ○マルチメディアとコンピュータ通信 (19～22時間)	○処理装置の構成および動作 ○周辺装置の働き ○データ通信の概要 ○マルチメディアの概要	○処理装置の構成・動作の理解 ○データ通信の基本の理解 ○日常的な学習習慣の育成。
	○分岐処理 ○繰返し処理 ○サブルーチン ○配列処理 ○ソフトウェア (17～20時間)	○一定回数の処理および不定回数 の処理 ○配列の利用 ○ソフトウェアの基礎 ○アプリケーションソフトウェア	○分岐および繰返し処理方法の 理解。 ○日常的な学習習慣の育成。
3	○コンピュータと情報化社会 ○コンピュータの取扱とソフトウェア ○情報の管理(13～27時間)	○プログラムおよびデータの保全 と保守 ○コンピュータシステムの安全保 護	○コンピュータの安全と保守の 理解 ○システムの安全保護の理解 ○日常的な学習習慣の育成

## 5 使用教科書・副教材他

情報技術基礎（コロナ社）、情報技術検定問題集（実教出版）

## 6 評価方法・観点

各定期考査（100点×5回）、小テスト、平常点（発表、ノート提出）、出席状況を総合的に点数化し、度数分布に従い5段階評価をする。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。